

三豊市介護サービス事業経営戦略（素案）に対するパブリックコメントにおける提出意見及び市回答

◆実施期間

令和7年12月24日（水）～令和8年1月23日（金）

◆意見の募集結果

提出者数1名（メール1件） 意見件数 3件
※いただいたご意見については、趣旨を損なわない範囲で要約させていただいております。

番号	意見	回答
1	<p><20ページ 第6章-1-(1)-ア-(ア)></p> <p>経営健全化に向けた具体的な取り組みとして、体験希望利用者の受け入れを掲げているが、無料体験については、違法だと認識している。</p>	<p>ご意見のとおり、指定通所介護等の利用者と体験利用をする方間で利用料に不合理な差を設けることはできません。</p> <p>該当箇所について誤解を招く表現であるため、「利用体験（保険外サービス）の受入体制の整備や・・・」という表現に修正いたします。</p>
2	<p><20ページ 第6章-1-(1)-ア-(イ)></p> <p>事業所所在地である財田町における高齢者人口は、今後横ばいから減少に転じる見込みである。他地域からの利用者獲得が見込めないのであれば、財田地域の軽度者等が自ら利用しなかった理由等を精査し、ブランディングの視点をより強化する必要があるのではないか。</p>	<p>ご意見のとおり、ブランディングの視点は運営にあたり非常に重要な要素です。改定にあたり実施したアンケート調査に加え、事業所周辺地域の居宅支援事業所の介護支援専門員への聞き取り等により今後も調査を継続します。そのうえで、計画内に記載した「利用者の生きがいややりがいの創出」等、事業所の特色や魅力を高めるための取り組みを検討し、実施してまいります。</p>
3	<p><21ページ 第6章-1-(1)-イ-(イ)、(ウ)></p> <p>現在の運営体制を維持していくのか。それとも、人口減少地域における介護保険サービスとして構築するのか。いずれにしても、事業規模の縮小化も含めて検討すべきではないか。</p>	<p>人口減少が進むなか、行政として地域間のサービス供給の偏りを改善する努力を求められています。そのためにまずは、委託先である三豊市社会福祉協議会と協力し、経営改善を進めることが必要であると考えています。その上で、課題改善の方向性として適切な方法であれば、地域密着型デイサービスへの移行や指定管理者制度の活用等の選択肢も排除せずに検討してまいります。</p>